

令和2年度第2回北広島市図書館協議会議事録

日 時	令和3年3月11日(木) 19時
会 場	図書館2階 AVサロン
出席委員	舟橋会長・北川副会長・正木委員・工藤委員・穴澤委員・小島委員・後藤委員・塚田委員
欠席委員	金田委員・川越委員
市出席者	笹森課長・新谷館長・蛭名主査・太田主任・佐藤主事・大川司書

【開会：会長】

ただ今より、令和2年度第2回北広島市図書館協議会を開催いたします。

本日は、委員8名の出席ですので、規定の過半数を超えており、本日の会議は成立していることをご報告いたします。

【会長】

それでは会議次第に従いまして、議事を進めさせていただきます。3の報告案件の(1)の令和2年度北広島市図書館利用状況から事務局の報告をお願いします。

【事務局】

令和2年度北広島市図書館利用状況について説明いたします。

令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言の出ている4月16日から5月25日までの約1か月間臨時休館いたしました。再開後は、カウンターの飛沫防止ビニールの設置、マスクの着用・消毒のお願い、閲覧席の利用の制限など、感染拡大防止策を取りながら開館している状況です。このことから、利用数に影響を受けた状況となっております。

「1. 貸出の状況」についてですが、過去のオープンからの年度の図書館の利用状況は表の上の方に掲載しています。令和2年度につきましては、年度途中であるため、昨年比との比較から4月から1月までの数字を載せています。

全体の貸出冊数は、全館で対前年度比で62,256冊減少しております。なかでも4月と5月の貸出数が休館の影響を受けた形で、表れています。全体の一人当たりの貸出数は5.38冊となっており、全体としては前年度比8割程度の貸出数となっております。

次に「2. AVコーナーの利用状況」についてですが、利用制限を6月まで行っていたために7月からの数字を掲載しています。(1)のAVブースの利用と(2)のインターネット端末の利用については、全体的には、昨年度の半数ぐらいの利用となっており、コロナの影響を受けた状況となっております。(3)の上映会につきましては、密室空間での長時間という観点から上映会を現在も開催中止している状況で、今後の様子を見ながら再開を検討していきたいと考えております。

続きまして、「3. 予約処理の状況」についてですが、(1)の予約受付件数では、カウンター窓口での受付件数を記載しています。(2)の予約受付別件数では、1月末までの合計は50,510件となっております。貸出利用数が減少しているのに反しまして、予約は751件増えています。webからの予約が半数以上を占めており、コロナの影響による増加かと考えられま

令和2年度第2回北広島市図書館協議会議事録

す。

臨時休館中は問い合わせも多く、市民の読書への関心の高さが伝わってきました。本を読みたい、窓口では長時間になるので、敬遠された形が予約数にも反映されているのかなと分析いたします。

今年度の最終的な統計がまとまりましたら、委員の皆様にお知らせさせていただく予定です。図書館の報告につきましては、以上となります。

【会長】

ただ今、事務局より令和2年度北広島市図書館利用状況に関する報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等がございましたら、よろしくお願いたします。

【会長】

意見がないようですので、(2)の令和2年度学校図書館利用状況について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

令和2年度学校図書館利用状況についてご説明いたします。3ページをご覧ください。市内の小中学校の学校図書館で貸出された冊数を年度別・学校別にまとめています。

今年度は、小中学校ともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月16日から5月31日まで臨時休校となり、学校図書館も休館し、貸出数も全体的に減少しています。

その中で、西の里小とまちなか司書が巡回している大曲小・大曲東小につきましては、一人当たりの貸出数が増加しています。また、すべての小学校で、豆次郎の利用もありまして、統計に反映されていない部分でも、子どもたちはたくさん読書をしています。

中学校につきましては、緑陽中が10月から通常の貸出数を3冊から5冊に上げたことで、緑陽中全体の貸出数と一人当たりの貸出数が増加しています。また、すべての中学校に学校司書が隔週で巡回しており、生徒のリクエストの要望に細かく対応することで、読書好きな生徒が変わらずに図書室に足を運んでいます。授業や行事で使用する図書を集めて貸出するなど、コロナ禍でも学校図書館は多く活用されています。

次に4ページをご覧ください。学校図書センターの取組の中で、きたひろブックキャラバンについてご説明いたします。

昨年度に引き続き、双葉小と大曲東小の2校での開催となりました。双葉小は3回目、大曲東小は2回目の開催です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校と相談し、読み聞かせは中止、1校時ごとに1学年の実施、体育館の窓やドアを開け換気し、消毒液を体育館前に設置するなどの対策を取りながらの開催でした。

北広島市図書館のカードで一人3冊まで貸出ができ、2校とも、持ち込んだ児童書約1,200冊～1,800冊のうち6～7割が借りられ、一人当たり2.6冊の貸出となりました。

キャラバン中の児童の様子は、説明を聞いている間にも自分の近くに置いてある本に目をつけて、スタートと同時に素早く目当ての本を手取る姿も見られました。貸出が終わった児童

令和2年度第2回北広島市図書館協議会議事録

は、借りた本やゴザに置いてある本を読み始める姿も多く見られました。

読書が好きな児童にも、図書室にあまり来ない児童にも、多くの図書に親しむ機会となりました。児童にも教員にも好評で、来年度も2校で開催することが決まっています。

学校図書館の報告については、以上となります。

【会長】

令和2年度学校図書館利用状況に関する報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等がありますか。

【会長】

意見がないようですので、(3)の地域まるごと読書支援モデル事業の報告について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

続きまして、地域まるごと読書支援モデル事業について報告いたします。

幼児期からの読書活動の推進として、子育て世代の多い大曲地区を対象とした事業を実施し、本事業は今年で3年目となります。

大曲地区の小学校2校については、先ほど、説明がありましたように、隔週での巡回配置をまちなか司書が行っております。

大曲4園の保育所等では、毎週決まった曜日に一日1園巡回し、在園児への読み聞かせを行っています。4月から1月までの各園の読み聞かせ回数につきましては、表の通りです。

今年度につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、いちい保育園とむつみこども園については、園からの申し出により、読み聞かせを見合わせております。

まちなかの巡回により園の先生からは「とにかく本が大好きになった。」「お話を聞く時の集中力がついてきた。」との感想をいただいております。

また、隔週での家読パック「こつぶ」配本も行っています。2年度の登録率は、全体の38%となっており、昨年度の37%と比較しても大きな差異は見られませんが、当初の想定よりも高い登録率となっていることから、家読パックづくりのシステム化、配本体制を見直しているところです。

貸出冊数等につきましては、表をご覧ください。1月末現在で3,893冊の貸出があり、一回当たりの貸出件数としては約8割の利用率となっております。

また、昨年度実施したアンケートでは、全体の8割の方がこつぶに満足をしている、また、全体の6割の方が、家庭での読書環境に何らかの変化があったとの回答がありました。今後もアンケート結果を分析し、サービスの向上につなげていきたいと思っております。

以上で、地域まるごと読書支援モデル事業の報告を終わります。

【会長】

地域まるごと読書支援モデル事業に関する報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等がありますか。

令和2年度第2回北広島市図書館協議会議事録

【A委員】

読み聞かせを見合わせている2つの園が市立であること、私立であることが実施に至っていないことと関係はあるのでしょうか。

【事務局】

市立、私立は特に関係はありませんが、園内のホールなどの場所を利用して、園児に対して一同に読み聞かせを行っていた園であるため、見合わせていると考えられます。

【B委員】

実施している他の保育園での読み聞かせは、どのように実施しているのでしょうか。

【事務局】

大地太陽保育園は、在園児が少なく、少人数制で読み聞かせを行っています。はだかんぼ保育園は、帰宅のお迎えまでに対一で行っています。

【会長】

続きまして、(4)の令和2年度予算案の概要について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

令和2年度および令和3年度の北広島市図書館及び学校図書センターの予算案概要を説明いたします。

始めに、図書館運営費の令和2年度予算概要については表にあるとおりで、令和3年度予算につきましては、対前年度比で減少している状況であります。これは、新型コロナウイルスの影響を受けていることや、市の財政状況を踏まえ、算定させていただいた予算となっております。図書の購入費のほか、役務費内における郵便料や、需用費内の消耗品費等を削減している状況であります。

学校図書センターの予算概要につきましても、同様に精査させていただいた結果、全体で73万円程度の予算を削減しております。

より詳細な説明、ご質問等があればお答えいたしますので、よろしくお願いいたします。

【会長】

ただ今、事務局より報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等がございましたら、よろしくお願いいたします。

【会長】

意見がないようですので、(5)の子どもの読書活動推進計画(第3次)について事務局から説明をお願いします。

令和2年度第2回北広島市図書館協議会議事録

【事務局】

それでは、子どもの読書活動推進計画（第3次）についての現状につきまして報告させていただきます。お手元の別紙計画案ですが、今日23日の教育委員会にて正式決定され、案が取れる見込みです。今回の計画は、策定途中に委員の改選もあり、途中から参加された方もいらっしゃるのですが、まずはお手元の成案に至る経緯について説明をします。お手元の計画案、27ページの審議経過をお開きください。策定にあたりまして、昨年2月に原案に近い検討資料を提示し、検討を始め、6月までに、委員の皆さん、図書館ボランティアの皆さんからご意見をいただき、素案の原案を作成することができました。

その後、委員の改選を経て、10月に正式に教育委員会より諮問を受け、書面審議ではありましたが、12月に素案の答申書を提出しました。今年に入って、この素案をもって2月にパブリックコメントを行いました。2-3の質問に回答する以外は、素案を変更するような意見もなく、現在に至っています。字句の校正は、まだ続けておりますが、内容は全く変わらない状態で教育委員会にて決定される見通しであります。

表紙の絵につきましては、当初から本市出身の絵本作家であるかとうまふみさん にお問い合わせする予定ではありましたが、実際の絵は、初お目見えとなると思います。『読書から色々な発想や想像が育っていくイメージを表した』と、ご本人からの説明があるとおり、この計画を読んで描き下ろしてくれた作品です。計画の中身も、この絵のようにのびのび暖かく育つてくれると良いなと思っております。

本計画は、市の総合計画の基で今後10年にわたる指針となります。現在、取り組んでいる地域まるごと読書支援モデル事業など、子どもの読書活動を進展させる様々な要素を盛り込めたと思っております。策定までは1年かかりましたが、その間、ご協力いただき、ありがとうございました。今後は、計画の実現につきましても、変わらず、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【会長】

子どもの読書推進計画（第3次）について、ご質問やご意見等はございますか。

【会長】

ないようなので、改めて全体を通して確認事項や、ご質問やご意見等はございますか。

【事務局】

今年度、福岡県小郡市、長野県塩尻市と合同でPOPを作成するコンクールを行いました。この2市においては、公共図書館、学校図書館共に先進的な自治体であります。結果、昨年度に引き続き、本市の西部中1年生の生徒が最優秀賞を受賞しております。

一般の部も含め、佳作に入選した作品も多くあったため、作品を載せた資料を皆さんのお手元に配らせていただいております。

【会長】

素晴らしいですね。

令和2年度第2回北広島市図書館協議会議事録

【事務局】

一次審査は北広島市図書館で行いましたが、素晴らしい作品ばかりでした。中学生の部がもっと応募があると良かったかなという感想です。北広島市からの応募作品だけでも全部で700以上の数になりました。そこから90作品程度を本選に送らせていただきました。

【会長】

それだけ集められたのはどういった工夫があったのでしょうか。

【事務局】

学校の国語の学習指導に「自分で本を読み、自己表現をする」というところがあり、授業で活用されています。その中で小学校、中学校において、それぞれで取り組んでいただきました。できるかぎり、今後も継続していきたいと考えております。

【会長】

ほかに全体を通し、やはり今年はコロナという言葉が目立っておりますが、緊急時の図書館の運営についてはいかがでしたか。

【事務局】

急遽臨時休館が決まり、これまでにない事態で、当初は職員の混乱もありました。特に4月5月は臨時休館の期間が決まっているようで決まっておらず、開館が先送りになる状況が続き、市民の皆様が読書を提供できないという非常に残念な気持ちでございました。電話やメールで「こんな時期だからこそ読書を楽しみたい」という声が多数寄せられたので、今後の課題として、緊急時にどのようなサービスが提供できるのか検討していきたいと考えております。

当初は、新型コロナウイルス感染症の対応について見えていなかった部分もありましたが、現在は感染状況を含め、その危険性や、利用者の対応方法が定着してきている状況です。今後、極力完全閉館はしないような運営方法も課題です。貸出数が対前年度比8割程度に留まっており、当初はこれ以上に減少することを想定していたため、その点は良かったと思います。

現在は、滞在時間を短くお願いしておりますが、貸出そのものの落ち込みは少ない印象です。利用者から返却された本は職員がすべて消毒の作業をしております、少し時間を置いたうえで配架を行っております。

【C委員】

除菌ボックスの活用はどうか。また、消毒はどのように行っているのでしょうか。

【事務局】

除菌ボックスは、利用者が貸出した本に使っていただくために設置しているので、返却本については全て手作業で1冊ずつ職員が行っております。利用者からの返却後、カウンター内にて手作業で拭き作業の消毒を行い、チェックをかけ、配架しております。道立図書館ではどのように対応されていますか。

令和2年度第2回北広島市図書館協議会議事録

【D委員】

返却本の消毒は行っていません。除菌ボックスは、コロナが流行る前にたまたま導入していたため、日ごろから利用者の方々が使っておりましたが、現状としては一つ一つを消毒するような体制は取れていない状況です。

【事務局】

新型コロナウイルス感染症対策の補助金を受け、除菌ボックスを追加購入し、本館に3台、大曲分館に1台設置しております。

【E委員】

大曲のお客様が大変喜んで使っている状況が見られています。一方で、ほかの分室への設置を求める声も聞かれています。

【事務局】

住民センターと西の里分室へはコロナ対策としまして、室内の換気のため、冷風機を導入したところです。

【F委員】

ブックキャラバンは来年度2校での開催が決まっているとありましたが、今後、他の学校で開催する予定はありますか。地域まるごと読書支援モデル事業の現状からみて、まちなか司書が巡回している学校の貸出数は伸びているようですが、今後、まちなか司書が巡回する学校を増やす予定はありますか。

【事務局】

ブックキャラバンについては、他の小学校でも開催していきたいと考えております。「学校図書センター通信」を用いて、各学校へお知らせをしていますが、学校側から開催の要望が寄せられていない状況です。事業の理解を深めてもらうために、市内小学校の先生方へブックキャラバンを見学してもらいたいところですが、コロナ禍の状況も鑑み、なかなか実施できていないという現状です。また、市内小学校の年間の行事やスケジュールを踏まえると各校で、実施できる時期が重なってしまい、約1,000冊の本を動かす図書館側の準備が間に合わないという課題もあるため、実施する学校を増やすためには各学校との日程調整も課題となってきます。以上を踏まえて、拡大を検討しつつも、来年度についても現在は2校での実施が決まっているところです。

地域まるごと読書支援モデル事業の拡大については、可能性という点では十分にあると考えております。全市展開をめざしていきたいと考えているところです。

【会長】

ほかに、ご質問等はないでしょうか。

令和2年度第2回北広島市図書館協議会議事録

【G委員】

学校図書センター予算案の内訳、役務費にあるデジタル副読本システムとはどのようなものなのでしょうか。

【事務局】

社会科の副読本のデジタル版を作っておりまして、去年の8月からすべての小学校が電子化した資料を先生方が編集できるよう高機能化を図ったものになります。そこにかかる利用料が役務費として増えている状況です。

今年度は文科省から学校図書館の調査研究にかかる委託事業を受け、学校での活用や先生方への研修会や、大曲小、緑ヶ丘小でモデル事業を行いました。活用そのものは非常に有効であるとの評価をいただいたので、今後も研修会を継続していきたいと考えています。

現在、市内の小学5年生に電子タブレットを配布する等、GIGAスクール構想が進む中で、先生方が使用できるモデルを展開できたことは今後にも繋がるのではないかと考えます。

【会長】

ほかに、ご質問等はないでしょうか。無いようですので、以上で全て終了になります。以上をもちまして、令和2年度第2回北広島市図書館協議会を閉会させていただきます。

会議録署名委員
